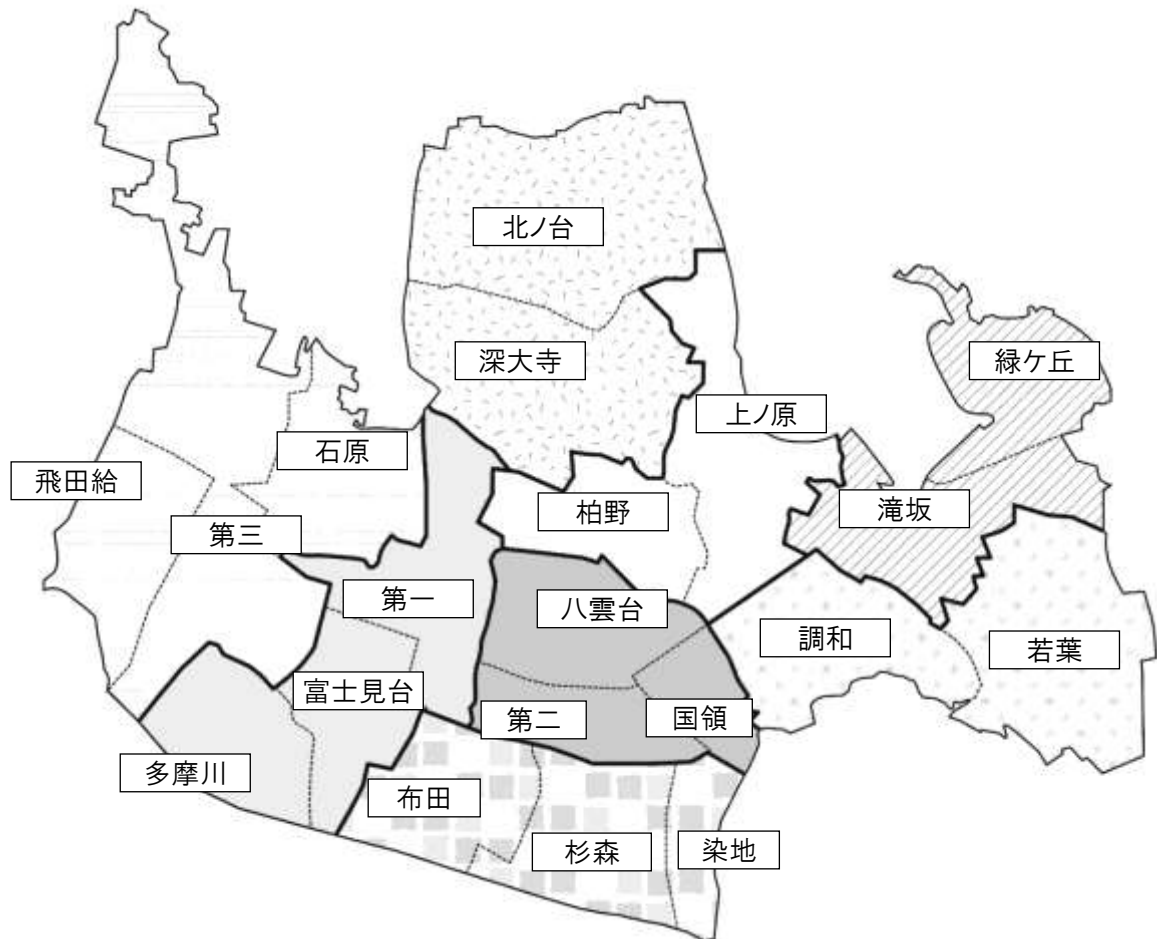
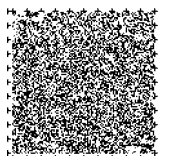


第6章 地域の状況（8つの福祉圏域）



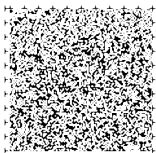
- 1 緑ヶ丘・滝坂小学校地域
- 2 若葉・調和小学校地域
- 3 上ノ原・柏野小学校地域
- 4 北ノ台・深大寺小学校地域
- 5 第二・八雲台・国領小学校地域
- 6 染地・杉森・布田小学校地域
- 7 第一・富士見台・多摩川小学校地域
- 8 第三・石原・飛田給小学校地域

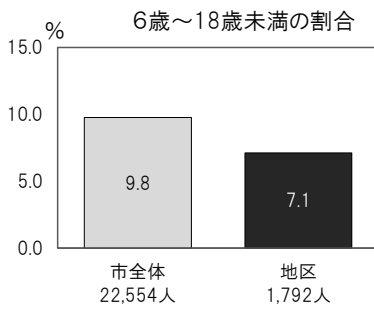
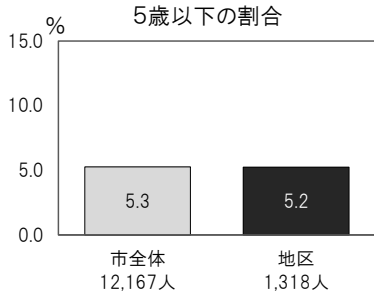


1 緑ヶ丘・滝坂小学校地域

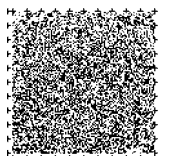
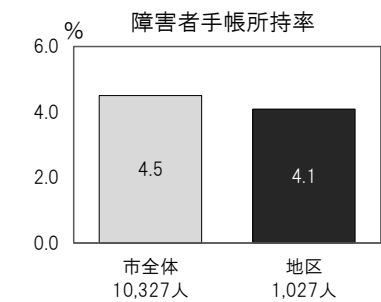
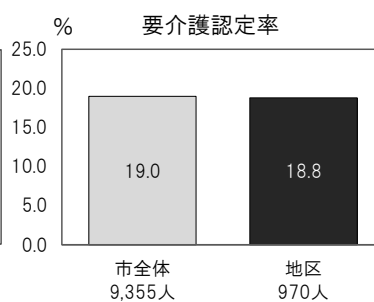
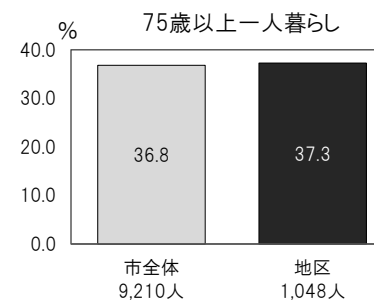
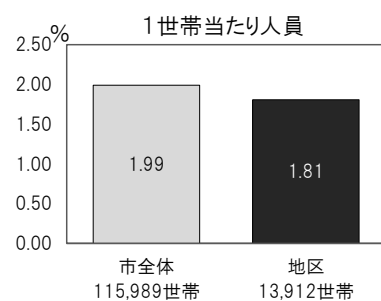
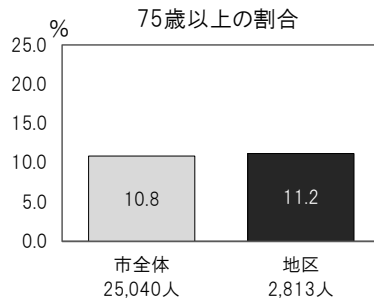
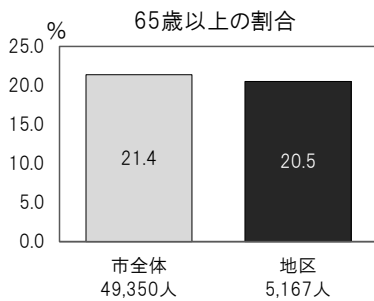
この地域は、市の北東部に位置し、都営緑ヶ丘二丁目団地の建替えが進んでいます。白百合女子大学やせんがわ劇場などの教育文化施設が立地するほか、仙川商店街などの商業施設の集積度も高く、にぎわいのある街となっています。このため、京王線の仙川駅は、乗降客数も調布駅に次いで多い駅となっています。

また、つつじヶ丘駅周辺には、神代出張所、児童館ホールなどがあり、地域の方に利用されています。

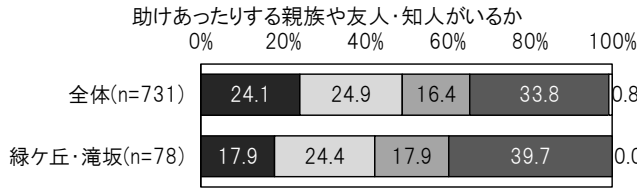




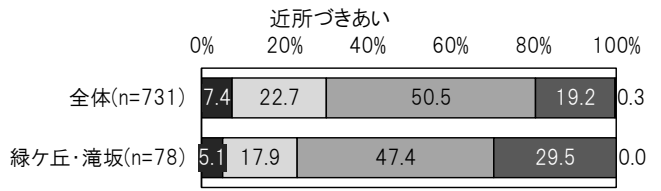
人口・世帯	人口	25,174
	世帯	13,912
組織・活動	自治会	24
	地区協議会	2
	市民活動団体	43
	ひだまりサロン	15
	老人クラブ	4
	民生委員・児童委員	17
福祉施設	児童福祉施設	22
	高齢者・介護保険施設	8
	障害者(児)福祉施設	3
医療施設	病院・診療所	42
	歯科医院	38



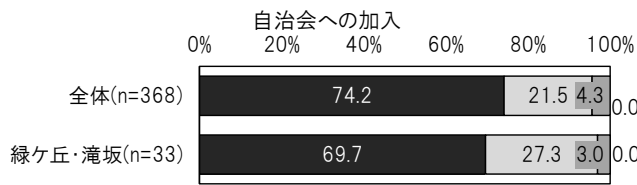
アンケート調査



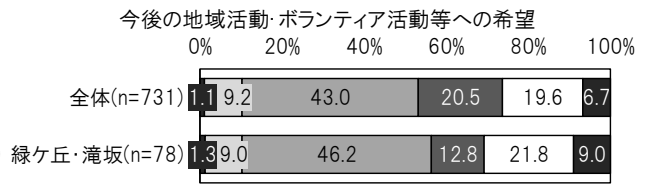
- 近くに気軽に頼める人がいる
- 気軽ではないが、いざという時には頼める人が近くにいる
- 近くにはいないが、頼める人がいる
- 特に頼める人はいない
- 無回答



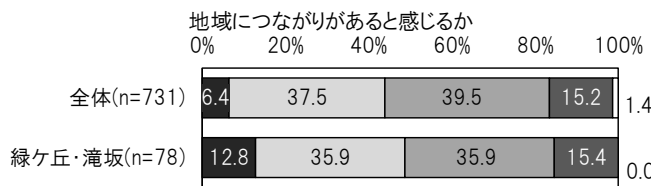
- 家を行き来するなど、親しく近所づきあいをしている
- 立ち話をする程度のつきあいをしている
- あいさつをする程度のつきあいをしている
- 近所づきあいをしていない
- 無回答



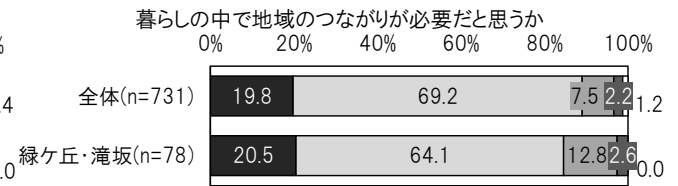
- 加入している
- 加入していない
- 分からない
- 無回答



- 積極的に、取り組んでいきたい
- できるだけ、取り組んでいきたい
- 機会があれば、取り組んでもよい
- 取り組みたいが、できない
- あまり取り組みたくない
- 無回答



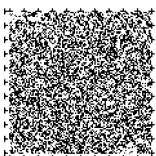
- とても感じる
- 少し感じる
- あまり感じない
- 感じない
- 無回答



- とても必要だと思う
- どちらかといえば、必要だと思う
- どちらかといえば、必要ないと思う
- 必要ないと思う
- 無回答

地域の中で不安や課題と感じていること

	合計	子育て、子どもの教育のこと	健康のこと	介護のこと	老後の生活のこと	住まいや住宅のこと	仕事のこと	経済的なこと	近所づきあいや、友だちづきあいのこと	防犯、地域の安全のこと	災害時のこと	気軽な相談できる人（機会）	その他	特になし	無回答
全体	731	22.4	28.6	20.0	37.2	23.0	20.7	29.5	9.7	31.2	43.0	9.7	3.4	12.9	1.5
緑ヶ丘・滝坂	78	19.2	26.9	14.1	23.1	23.1	12.8	16.7	5.1	35.9	46.2	6.4	6.4	16.7	0.0

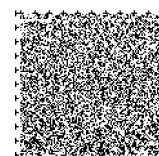


地域の強み・弱み、地域特性への取組(地域住民からのご意見)

地域の強み・個人や地域でできること	地域の弱み・個人や地域でできること
<ul style="list-style-type: none"> ○ 地域のつながりが強く、近所つきあいなどを行っている割合が高い。 (みんなが安心して住み続けられるよう、住民の助け合い・見守り等の仕組みをつくる。) ○ 駅周辺は、商店や医療機関が多いので、見守りなどに活用できるよう働きかける。 ○ 地域活動が活発で、イベントも盛んである。 (さくらまつり、ふれ愛のつどい、SLトレインフェスタ、夏休みこども体験、盆踊り、ハロウィンなど) ○ 駅周辺は、お店が増え、商店街が活性化しており、利便性が良く住みやすい。 ○ せんがわ劇場を中心に芸術の街として、こじやれた雰囲気があるため、その良さをもっと生かしていければよい。 ○ 仙川駅からの教育機関があるため、若者が地域に多い。大学等との連携を強化し、若年層の巻き込みを図っていく。 ○ 誰もが参加できるスポーツ「ボッチャ」を通して多世代、様々な人とコミュニケーションを取る。 ○ 学校や施設が密集している地域では、子どもや高齢者を対象とする行事の際に、声かけや人集めがしやすい。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 駅周辺から遠い地域では、何かイベント等があっても交通手段が不便で出ていけない人もいるので、参加しやすい工夫が必要である。 ○ 団地周辺は、特に高齢化やひとり暮らし高齢者の増加、建替え問題などで不安が強い。まずはあいさつからはじめ、あきらめずに良い意味で“お節介”な人を増やしていくとよい。 ○ 団地の建替えに対する地域における相談の仕組みが必要。 ○ 高齢者などこれまで地域とかかわりがなかった人を地域活動に引き込むために、退職者を対象とした学習会などきっかけがあるとよい。 (地域福祉センターのボランティアコーナーとの協力) ○ 集まれる場所が少ない。大学生と、空き家や空き店舗なども使った居場所をつくれるとよい。(情報収集の支援が必要) ○ マンションに住む人々に対して、自治会づくりを働きかけ、助け合いや見守りについて取り組んでもらう。

今後の方向性

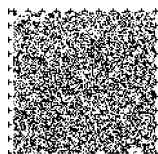
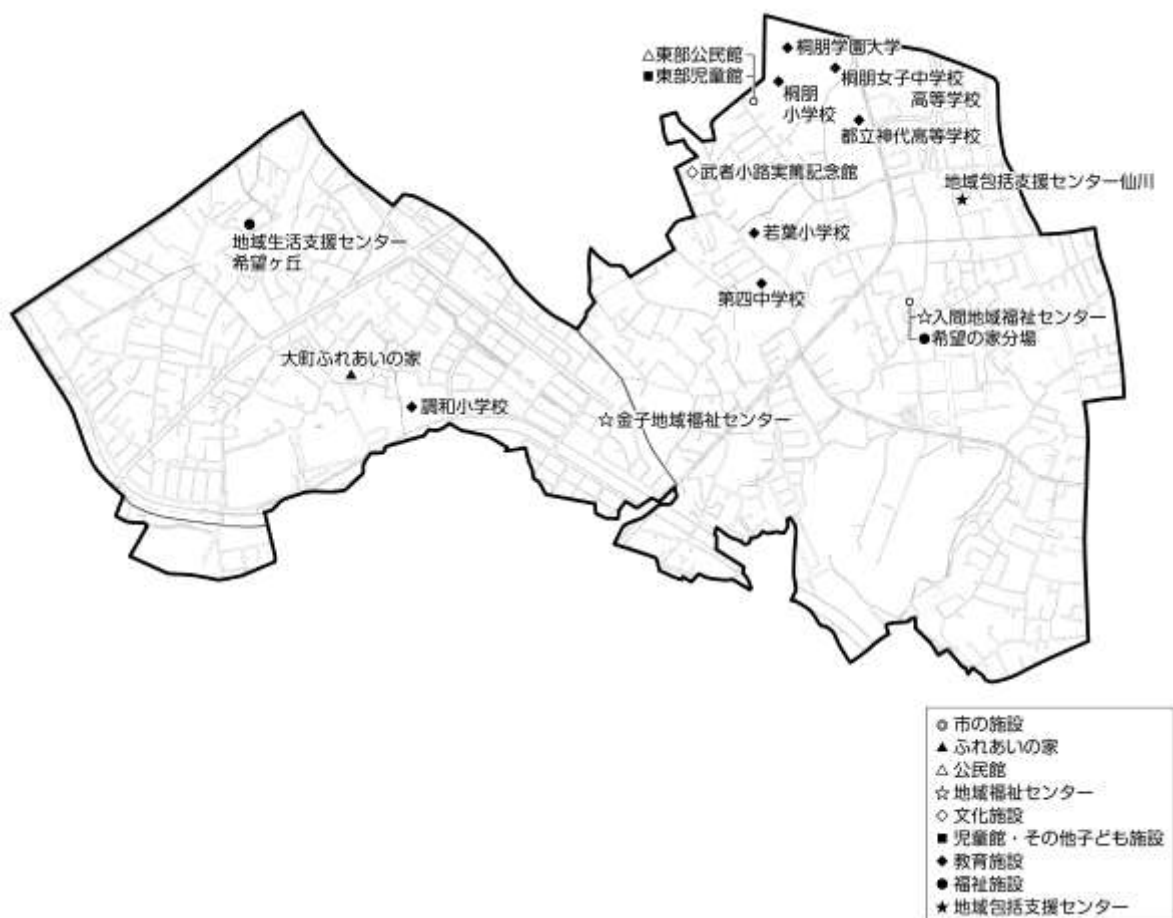
高齢化が進み高齢者のひとり暮らしが増えている中、大学があることや芸術の街といった利点を生かし、大学生などの若い世代を巻き込みながらイベントの実施や居場所づくりなどに取り組んでいく。また、退職者向けの学習会などを実施し、元気な高齢者が地域活動に取り組めるきっかけをつくっていく。

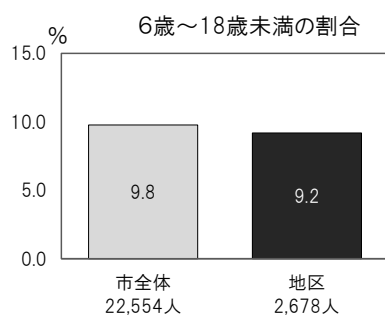
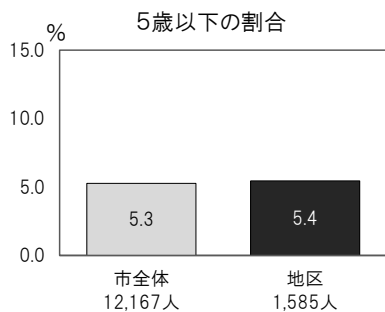


2 若葉・調和小学校地域

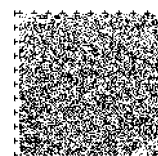
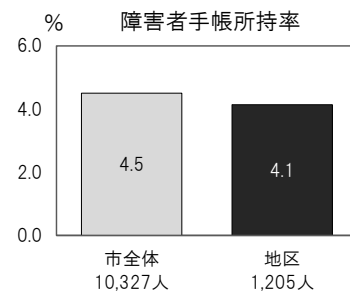
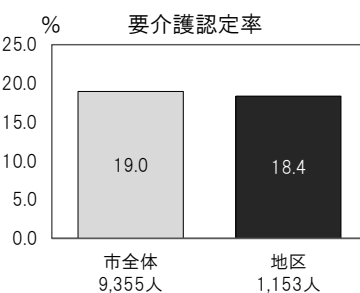
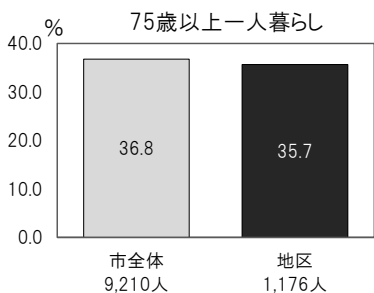
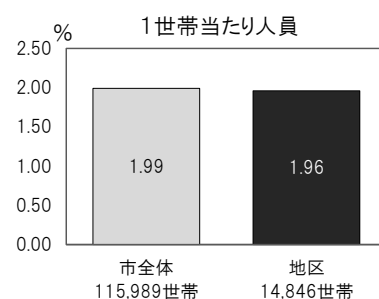
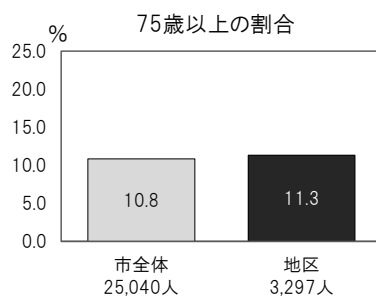
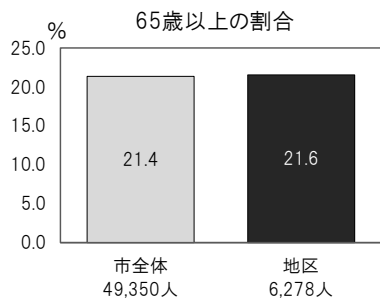
この地域は、市の南東部に位置し、神代団地という大きな集合住宅があります。入間町周辺地区は、武蔵野の面影を残す国分寺崖線をはじめ緑豊かな環境が残されており、うるおいのある都市環境を形成しています。

また、桐朋学園、武者小路実篤記念館のほか、市民大町スポーツセンターや調和小学校内の室内プールなどスポーツ施設があります。このほか、今後、入間町に新たな福祉施設や学校などが開設される予定です。

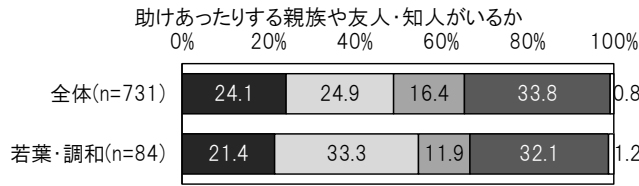




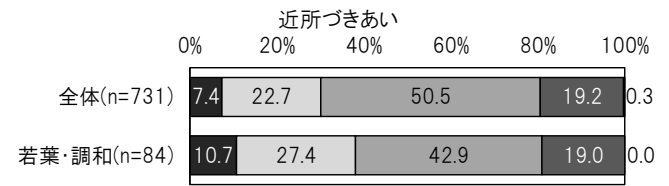
人口・世帯	人口	29,115
	世帯	14,846
組織・活動	自治会	32
	地区協議会	2
	市民活動団体	37
	ひだまりサロン	7
	老人クラブ	5
	民生委員・児童委員	22
福祉施設	児童福祉施設	12
	高齢者・介護保険施設	6
	障害者(児)福祉施設	7
医療施設	病院・診療所	20
	歯科医院	12



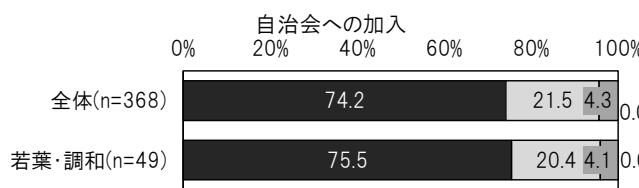
アンケート調査



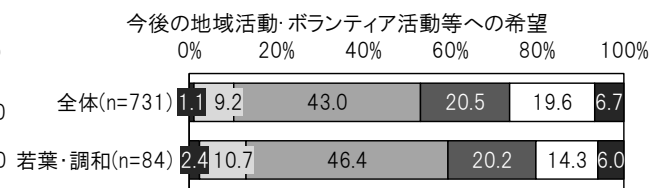
- 近くに気軽に頼める人がいる
- 気軽にではないが、いざという時には頼める人が近くにいる
- 近くにはいないが、頼める人がいる
- 特に頼める人はいない
- 無回答



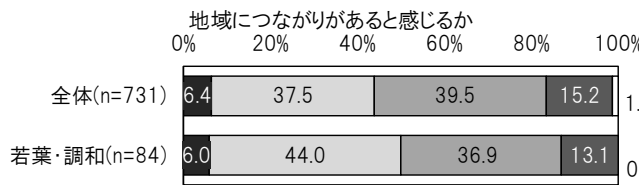
- 家を行き来するなど、親しく近所づきあいをしている
- 立ち話をする程度のつきあいをしている
- あいさつをする程度のつきあいをしている
- 近所づきあいをしていない
- 無回答



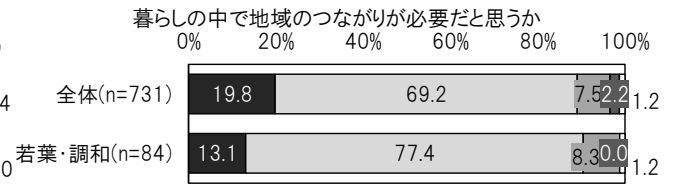
- 加入している
- 加入していない
- 分からない
- 無回答



- 積極的に、取り組んでいきたい
- 機会があれば、取り組んでもよい
- あまり取り組みたくない
- できるだけ、取り組んでいきたい
- 取り組みたいが、できない
- 無回答



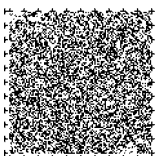
- とても感じる
- 少し感じる
- あまり感じない
- 感じない
- 無回答



- とても必要だと思う
- どちらかといえば、必要だと思う
- どちらかといえば、必要ないと思う
- 必要ないと思う
- 無回答

地域の中で不安や課題と感じていること

	合計	子育て、子どもの教育のこと	健康のこと	介護のこと	老後の生活のこと	住まいや住宅のこと	仕事のこと	経済的なこと	近所づきあいや、友だちづきあいのこと	防犯、地域の安全のこと	災害時のこと	気軽な相談できる人（機会）	その他	特になし	無回答
全体	731	22.4	28.6	20.0	37.2	23.0	20.7	29.5	9.7	31.2	43.0	9.7	3.4	12.9	1.5
若葉・調和	84	23.8	33.3	21.4	28.6	25.0	23.8	28.6	11.9	29.8	44.0	11.9	2.4	11.9	0.0

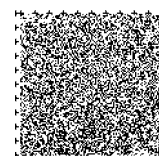


地域の強み・弱み、地域特性への取組(地域住民からのご意見)

地域の強み・個人や地域でできること	地域の弱み・個人や地域でできること
<ul style="list-style-type: none"> ○ 他地域に比べて、自治会の加入者が多く、自治会や地区協議会の活動が活発なところもある。 ○ 高齢者向けのお祭のようなイベントがあるほか、ゴミ出しの状況などから、ひとり暮らし高齢者の方の安否確認ができています。 ○ 小中学校との連携や交流が良く図られていて、特に PTA や親父クラブの活動が活発。先生方と地域のつながりも親密である。 ○ 何かあった時は、お互い様と助け合える地域のつながりがある。 ○ ボランティア活動への興味がある方が多く、小地域のボランティア情報をうまく共有して連携する。 ○ 地域のつながりを大切にして、すでにつながっているグループをネットワーク化して、活動を活性化する。 ○ 入間町地域福祉センターを利用した地域イベントでは、年間を通して、様々な年代の方が楽しめるような取組をして、世代交流を図っている。(はつらつ地域まつり、夏休み工作教室、新春お茶会、三世代交流輪投げ大会など) ○ 子どもたちが参加しやすくするために、小学校を会場とするイベントを行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 駅から離れた地域で、お店が減ってしまい、病院なども遠く、生活が不便(住民主体の交通システムの検討) ○ 自治会活動は、各自治会によって偏りがあり、自治会のイベントを行っても高齢者が多く、若い世代の参加を増やすことが難しい。自治会の中で、イベントセクションやプロジェクトチームをつくるのも一つの手である。 ○ お子さんがない世代は特に自治会に誘っても断られるなどつながりを持つきっかけが難しいため、何か仕掛けが必要である。 ○ 国分寺崖線があり、坂が多い地域では、災害時の避難が難しい。 ○ 地域に福祉施設は少ないが、情報連携して地域づくりを進められたらよい。

今後の方向性

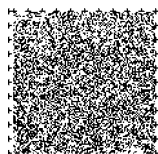
地域のつながりが強く、自治会や地区協議会の活動が活発なところや学校とのつながりが強いところをモデルとして、それらの活動が弱いところでも広げていく。特に、自治会の中でイベントやサロンなどのつながりづくりを実施するほか、イベントを企画するセクションやプロジェクトチームをつくることも検討していく。

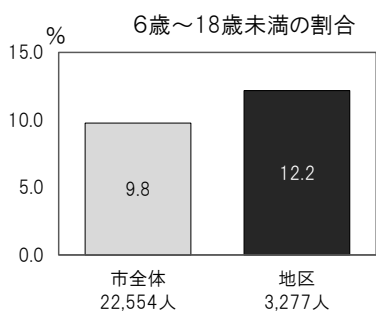
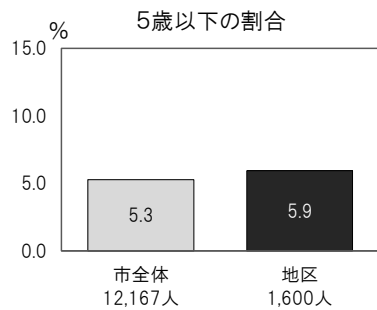


3 上ノ原・柏野小学校地域

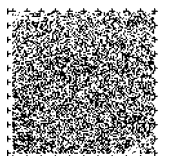
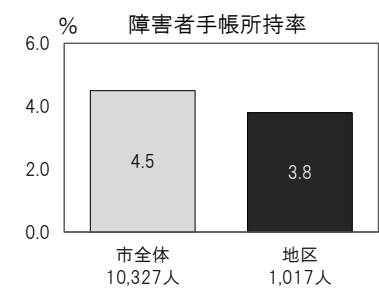
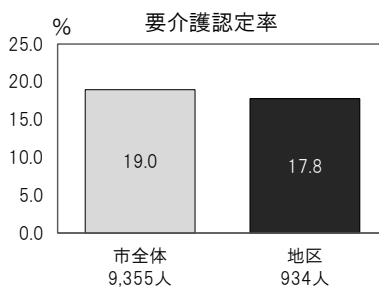
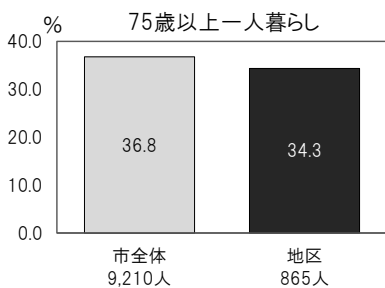
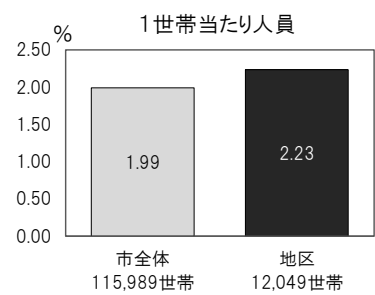
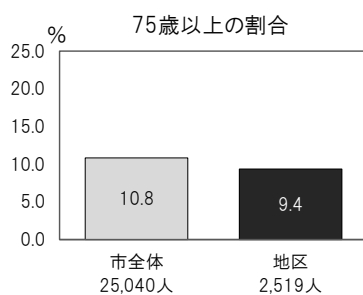
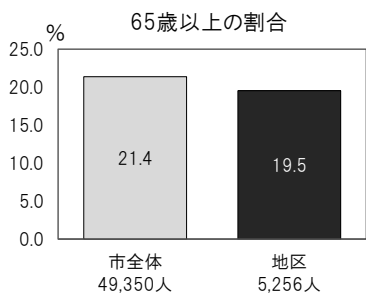
この地域は、野川が流れ、里山や水辺の環境が保全されており、田園風景も残る地域です。集合住宅や戸建て住宅の建設が多く、子育て世帯の流入などで、上ノ原小学校は、市内で児童数が一番多くなっています。また、65歳以上の割合が8圏域の中で2番目に低く比較的若い方が多い地域です。

日用品を扱う大型商業施設が、地域に点在しています。

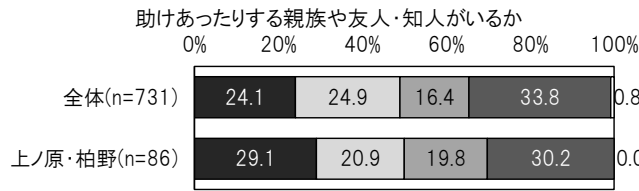




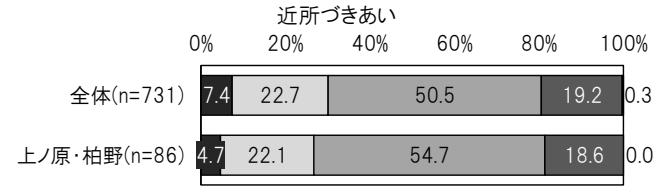
人口・世帯	人口	26,918
	世帯	12,049
組織・活動	自治会	54
	地区協議会	1
	市民活動団体	24
	ひだまりサロン	6
	老人クラブ	7
	民生委員・児童委員	13
福祉施設	児童福祉施設	14
	高齢者・介護保険施設	5
	障害者(児)福祉施設	3
医療施設	病院・診療所	8
	歯科医院	7



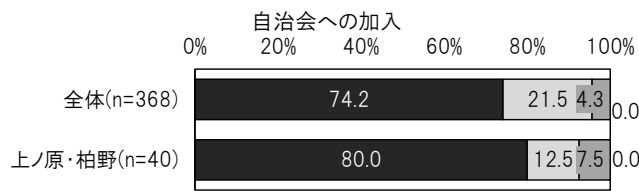
アンケート調査



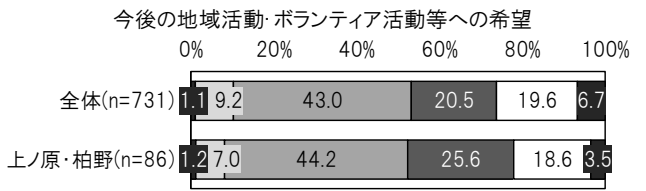
- 近くに気軽に頼める人がいる
- 気軽に頼める人がいるが、いざという時には頼める人が近くにいる
- 近くにはいないが、頼める人がいる
- 特に頼める人はいない
- 無回答



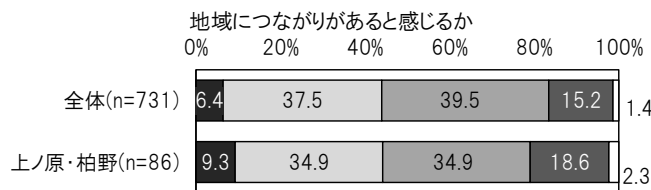
- 家を行き来するなど、親しく近所づきあいをしている
- 立ち話をする程度のつきあいをしている
- あいさつをする程度のつきあいをしている
- 近所づきあいをしていない
- 無回答



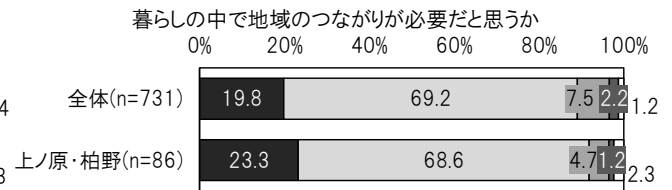
- 加入している
- 加入していない
- 分からない
- 無回答



- 積極的に、取り組んでいきたい
- できるだけ、取り組んでいきたい
- 機会があれば、取り組んでもよい
- 取り組みたいが、できない
- あまり取り組みたくない
- 無回答



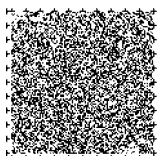
- とても感じる
- 少し感じる
- あまり感じない
- 感じない
- 無回答



- とても必要だと思う
- どちらかといえば、必要だと思う
- どちらかといえば、必要ないと思う
- 必要ないと思う
- 無回答

地域の中で不安や課題と感じていること

	合計	子育て、子どもの教育のこと	健康のこと	介護のこと	老後の生活のこと	住まいや住宅のこと	仕事のこと	経済的なこと	近所づきあいのきこあとい、友だちづきあいのこと	防犯、地域の安全のこと	災害時のこと	気軽な相談できる人（機会）	その他	特になし	無回答
全体	731	22.4	28.6	20.0	37.2	23.0	20.7	29.5	9.7	31.2	43.0	9.7	3.4	12.9	1.5
上ノ原・柏野	86	27.9	27.9	27.9	38.4	17.4	18.6	24.4	8.1	31.4	46.5	8.1	1.2	12.8	1.2



地域の強み・弱み、地域特性への取組(地域住民からのご意見)

地域の強み・個人や地域でできること	地域の弱み・個人や地域でできること
<ul style="list-style-type: none"> ○ 環境がよいこともあり、転入者含め若い世代が多く、見守り等地域づくりが盛ん。昔から住む人との交流がもっと増えるようになるとよい。 ○ 古くからの地縁の自治会を中心とした活動や地区協議会の活動が、小地域でうまく機能し、イベントなどが盛んである。 ○ 小学校を中心とした拠点づくりは、活動しやすい。 ○ 地域資源がとても豊富で、商店街、子どもや介護福祉施設など、いろいろな施設があり、地域の活動やイベントと一緒にやってみないかと声かけをすることで、誰もが参加できる仕組みができています。 ○ 地域の若い人の力をうまく活用して、みんなが楽しめるイベントの企画などに協力してもらおう(学校ごとにあるおやじの会や地域の青年団などにリーダーとなってもらう)。 ○ 単に、地域にチラシを配るだけではなく、市報やフェイスブックなどを利用して情報発信の仕方を考えていく。 ○ 地域内私立学校の協力連携もあり、イベント開催の会場提供があるのは、とてもよい。 ○ 菊野台地域福祉センターでの毎年行われる地域のつどいには、多世代の参加がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 若い世代の中でも、マンションや単身世帯などでは、特に交流が少なくなりがちである。若い人の活力をうまく引き出せる工夫が必要。 ○ 気軽に参加できるひだまりサロンが増えるとよい。 ○ 自治会やボランティア等の役員をする人がいつも同じ人で、担い手が少ない。子ども会も、子どもの数は増えてはいるが、塾や習い事で子ども会への加入者が少なく、活動が停滞している。子どもたちが、参加しやすい環境づくりが必要です。 ○ ひだまりサロンなど、みんなが集まって語らう場が少ないため、空き家活用など含め交流の機会や場を創出していけるとよい。 ○ 商店街の空き店舗を活用して、商店街と地域の人でコラボすることで、活性化にもつながるのではないかと。また、様々な施設の情報を収集して活用できるとよい。 ○ 地域住民の新旧の交流を進めて、地域のつながりをつくる必要がある。 ○ 地域の施設と地域住民が、協力できる関係の構築が必要である。

今後の方向性

若い世代が多いという特性を生かし、誰もが参加しやすいイベント等新旧住民との交流の場や機会を増やしていくとともに、今後着実に世代交代をしていけるように自治会やボランティア等の担い手を育成していく。特に、若い世代も情報を得やすい方法について検討し、自治会や地域活動について伝えていくほか、地区協議会や自治会などの地域組織が協働で進めていく。

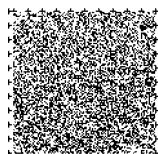


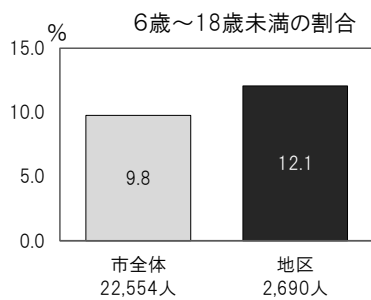
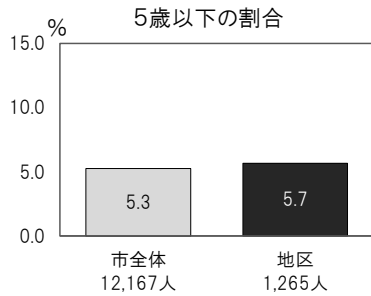
4 北ノ台・深大寺小学校地域

この地域は、武蔵野段丘と断崖により、自然樹林が広がる緑豊かな住宅市街地が形成された地域です。都立神代植物公園や国宝に指定された白鳳仏のある深大寺があり、市民や訪れる人にとっての憩いの場となっています。

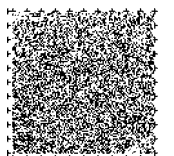
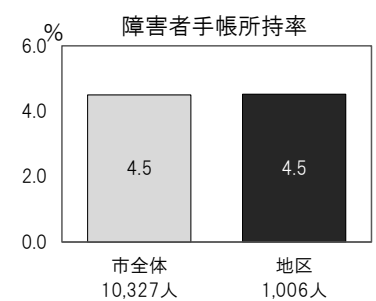
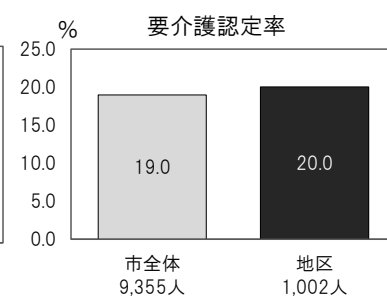
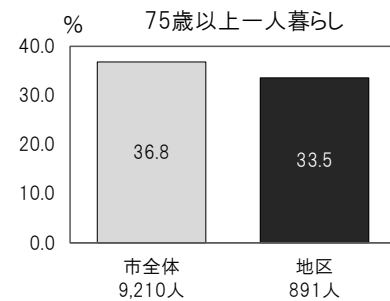
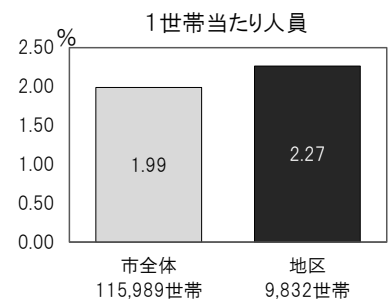
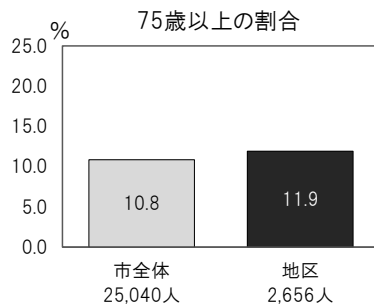
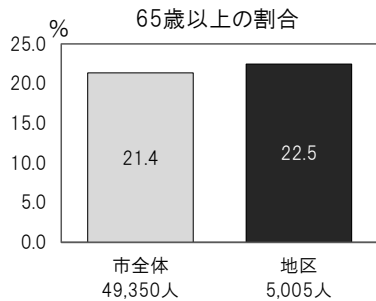
鉄道駅から離れた地域の市民の利便性向上を図るため、平成24年1月からはミニバス北路線が全線運行されたほか、平成28年10月に路線バスの運行路線も拡充されました。市の北部には、クリーンプラザふじみが設置されています。

戸建て住宅が増えている地域です。

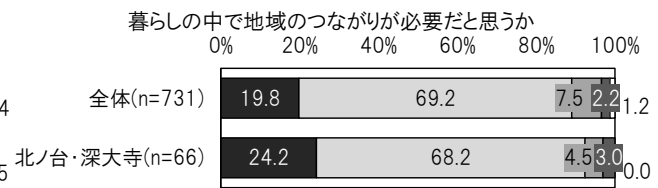
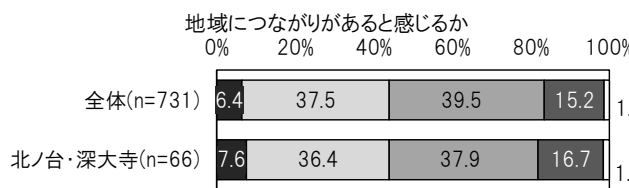
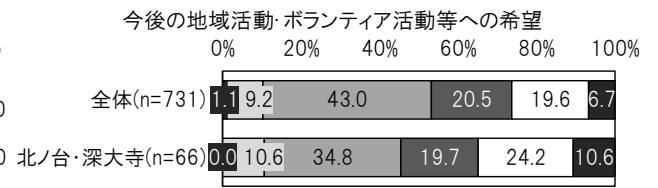
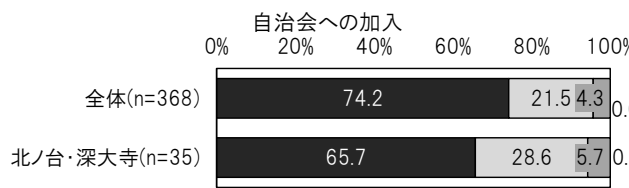
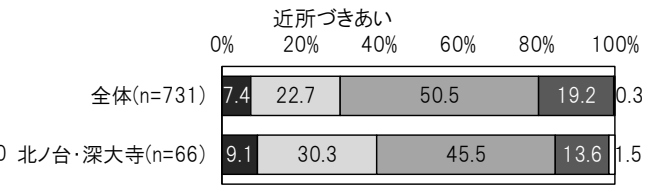
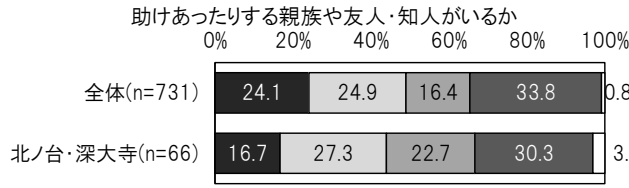




人口・世帯	人口	22,277
	世帯	9,832
組織・活動	自治会	24
	地区協議会	1
	市民活動団体	40
	ひだまりサロン	7
	老人クラブ	6
	民生委員・児童委員	16
福祉施設	児童福祉施設	11
	高齢者・介護保険施設	10
	障害者(児)福祉施設	5
医療施設	病院・診療所	5
	歯科医院	3

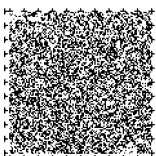


アンケート調査



地域の中で不安や課題と感じていること

	合計	子育て、子どもの教育のこと	健康のこと	介護のこと	老後の生活のこと	住まいや住宅のこと	仕事のこと	経済的なこと	近所づきあいや、友だちづきあいのこと	防犯、地域の安全のこと	災害時のこと	気軽に少人数で話せる人（機会）のこと	その他	特になし	無回答
全体	731	22.4	28.6	20.0	37.2	23.0	20.7	29.5	9.7	31.2	43.0	9.7	3.4	12.9	1.5
北ノ台・深大寺	66	22.7	28.8	21.2	37.9	15.2	16.7	30.3	9.1	24.2	37.9	4.5	1.5	13.6	3.0

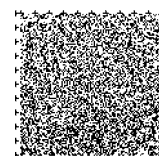


地域の強み・弱み、地域特性への取組(地域住民からのご意見)

地域の強み・個人や地域でできること	地域の弱み・個人や地域でできること
<ul style="list-style-type: none"> ○ 自然が豊かで緑が多く、神代植物園や深大寺等の観光地がありにぎわいがある。 ○ 地域の資源として、JAXA(調布航空宇宙センター)やクリーンプラザふじみがあり、一般公開されるなど地域に開かれた施設がある。 ○ 自治会活動や地域主体の活動が盛んで、交流イベント等が多く行われているが、より多くのイベント等を行って、転入してこられる若い世代や地域になじみのない方へのきっかけづくりを行う。 ○ 地区協議会が中心になり、周りの福祉施設と連携しいろいろなイベントも開催していたり、子どもの見守りで自治会と子供会の連携がとれていたりするなど、横の連携も取れている。 ○ 新しい住宅の建設が多く、古くからの住民と新たな住民がつながれるような、地域の取組が必要(ふれあい朝市や車の送迎支援など)。また、子育て世代にもっと参加してもらえような取組を検討していく。 ○ 地域にある福祉施設から、地域の方に理解してもらう取組の推進を図るとともに、地域の資源を洗い出して、施設、空き家や車などを活用していく。 ○ 地域住民と地域福祉コーディネーターの連携により地域の活動が、一層活性化している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 高齢者の方が多い中、交通の利便性が悪く、病院や市役所へ行くことが不便 ○ 高齢者の孤立が課題だが、それを防ぐにしても、個人情報の壁がある。今後は、地域でのつながりをつくって、個人情報が取得できればいい。 ○ 転入者などでは子供会や自治会加入が少なく感じるため、多世代が交流できる場所をつくることができるとよい。 ○ 空き家が非常に多く、空き家を活用したサロンの検討や、空き家の木の問題は地域に多くある植木屋のOBに活躍していただく方法はないだろうか。 ○ 市の北部地域は、地域の医療機関が少ない。

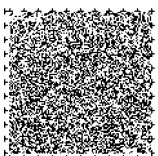
今後の方向性

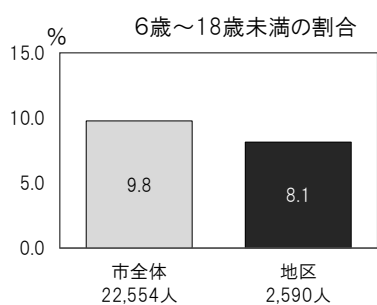
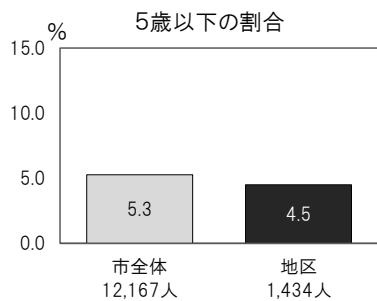
地域が主体の活動が盛んであるという素地を生かし、転入してこられる若い世代や地域になじみのない方に対しても参加してもらえような工夫をしていく。また、高齢者の孤立問題についても、地域のつながりを強化し支え合えるような関係をつくる。空き家に関しては、サロンなどに活用できないかどうか検討していく。



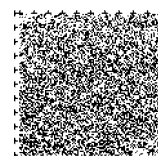
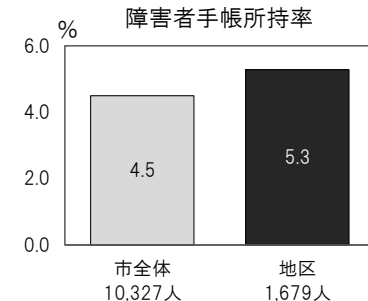
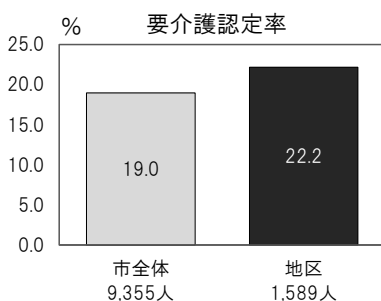
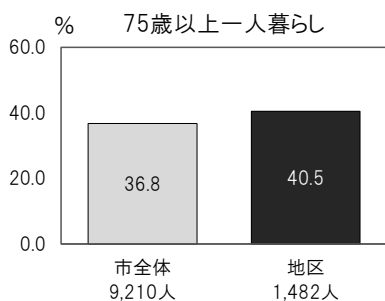
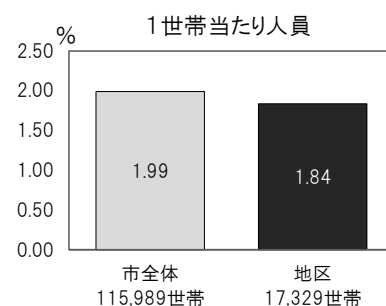
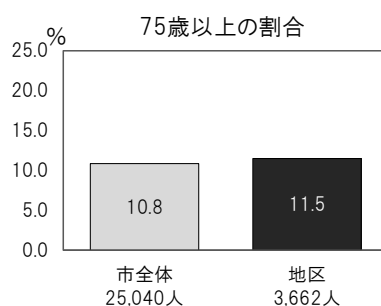
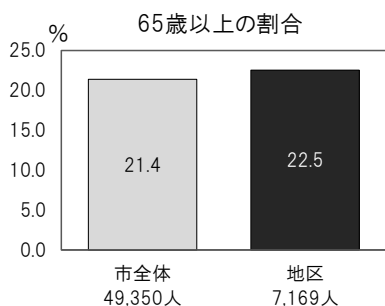
5 第二・八雲台・国領小学校地域

この地域は、市の中央部に位置し、国領小学校地域には、くすのき住宅という大きな集合住宅や大型商業施設があります。介護保険認定率や障害者手帳所持率が8圏域の中で最も多く、75歳以上人口に占めるひとり暮らしの割合も最も高くなっています。また、児童福祉・高齢者福祉施設も多く立地しているほか、複数のふれあいの家、市民活動支援センターや子ども家庭支援センターが設置されています。

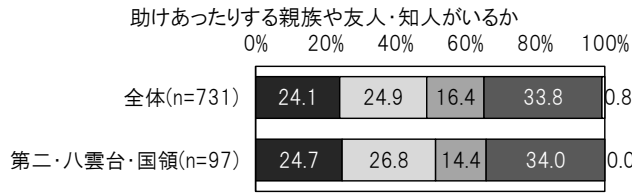




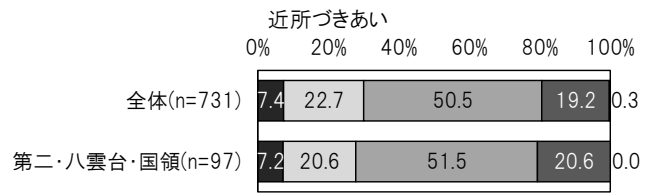
人口・世帯	人口	31,833
	世帯	17,329
組織・活動	自治会	47
	地区協議会	2
	市民活動団体	62
	ひだまりサロン	15
	老人クラブ	2
	民生委員・児童委員	24
福祉施設	児童福祉施設	29
	高齢者・介護保険施設	10
	障害者(児)福祉施設	17
医療施設	病院・診療所	37
	歯科医院	25



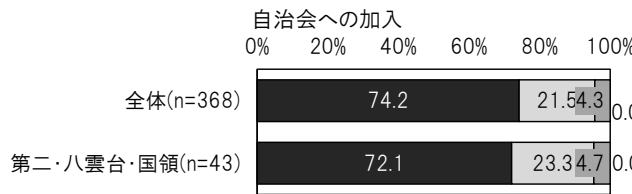
アンケート調査



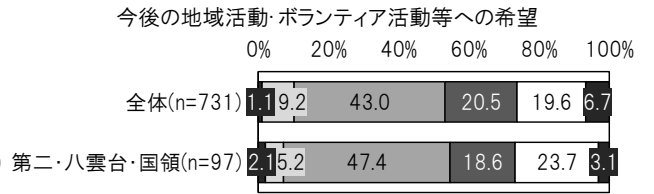
- 近くに気軽に頼める人がいる
- 気軽ではないが、いざという時には頼める人が近くにいる
- 近くにはいないが、頼める人がいる
- 特に頼める人はいない
- 無回答



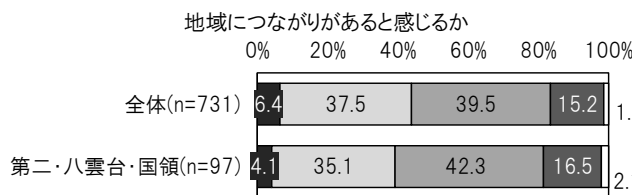
- 家を行き来するなど、親しく近所づきあいをしている
- 立ち話をする程度のつきあいをしている
- あいさつをする程度のつきあいをしている
- 近所づきあいをしていない
- 無回答



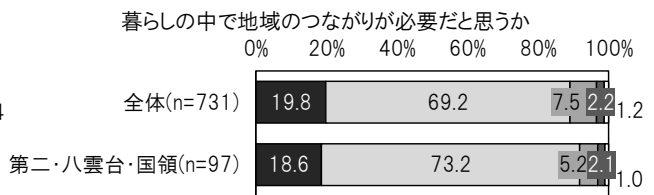
- 加入している
- 加入していない
- 分からない
- 無回答



- 積極的に、取り組んでいきたい
- できるだけ、取り組んでいきたい
- 機会があれば、取り組んでもよい
- 取り組みたいが、できない
- あまり取り組みたくない
- 無回答



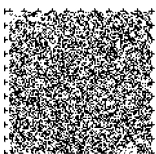
- とても感じる
- 少し感じる
- あまり感じない
- 感じない
- 無回答



- とても必要だと思う
- どちらかといえば、必要だと思う
- どちらかといえば、必要ないと思う
- 必要ないと思う
- 無回答

地域の中で不安や課題と感じていること

	合計	子育て、子どもの教育のこと	健康のこと	介護のこと	老後の生活のこと	住まいや住宅のこと	仕事のこと	経済的なこと	近所づきあいや、友だちづきあいのこと	防犯、地域の安全のこと	災害時のこと	気軽な相談できる人(機会)のこと	その他	特になし	無回答
全体	731	22.4	28.6	20.0	37.2	23.0	20.7	29.5	9.7	31.2	43.0	9.7	3.4	12.9	1.5
第二・八雲台・国領	97	18.6	37.1	15.5	46.4	27.8	28.9	40.2	10.3	34.0	42.3	7.2	4.1	7.2	1.0

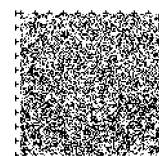


地域の強み・弱み，地域特性への取組（地域住民からのご意見）

地域の強み・個人や地域でできること	地域の弱み・個人や地域でできること
<ul style="list-style-type: none"> ○ 大きな商店や商業施設が多く，大きな病院が近いため，立地面で生活に便利である。 ○ 見守りやお祭り等の地域活動，（防災）訓練が多い。特に団地などでは，月1回の掃除を通して高齢者の安否確認を行っているところもある。 ○ 若い世代の転入も増えており，地域に暮らす人の世代バランスはよい。 ○ 自治会や集合住宅などで防災訓練が盛んで，災害の備えに努め，対応ができていく地域がある。 ○ 地区協議会や自治会などで人のつながりやネットワークが強い地域である。 ○ ひだまりサロンの周知を行い，参加を促す取組を進める。 ○ 地域資源である包括支援センターなど関係機関と連携して見守りを強化する。 ○ 国領駅前の市民活動支援センターでは，ボランティア活動の支援を，子ども家庭支援センターでは子育て支援をと，利便性の良い環境がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 団地を中心として高齢化率が高く，防災訓練や地域のイベントに参加しにくい現状がある。 ○ マンションや戸建ての住宅が増えてきていることによって若い世代も増え，つながりがない。若い世代への声かけなど顔の見える関係から地域のことへつなげていく必要がある。 ○ 自分からあいさつできるよう心がける。 ○ 子どもが参加しやすい状況をつくり出すということもやっていく必要がある。また，若い人と高齢の方の交わる機会・マッチングなどがあるとよい。 ○ 地域のイベントの情報を単身世帯は，自治会に加入していないとなかなか得ることが難しいので，情報の周知，共有化に努める。

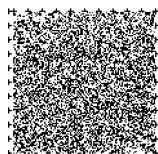
今後の方向性

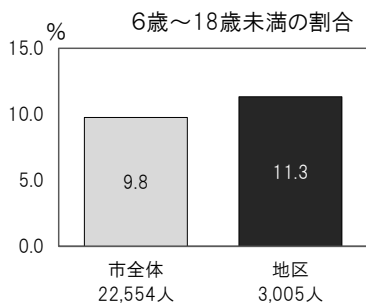
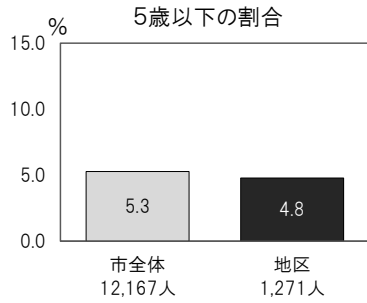
生活するのが便利な立地であり若い世代の転入が増えており，日頃のあいさつ・声かけや子どもが参加しやすい状況をつくり，交流を増やしていく。また，自治会に加入していない世帯へも情報を届けられるような方法の検討も必要。一方，団地を中心として高齢化率が高いため，孤立しないような見守りや，必要に応じて関係機関へつなげていく。



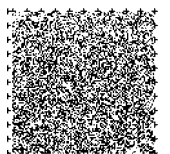
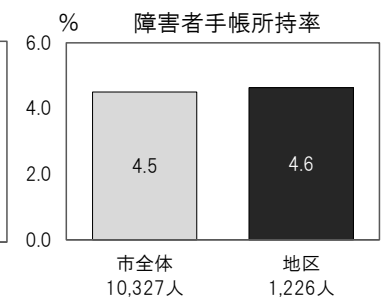
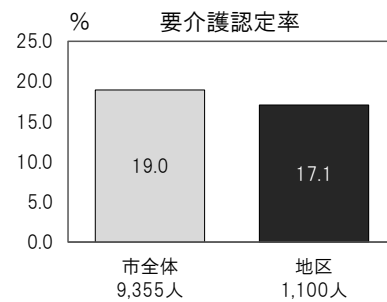
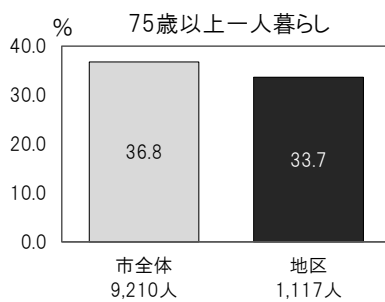
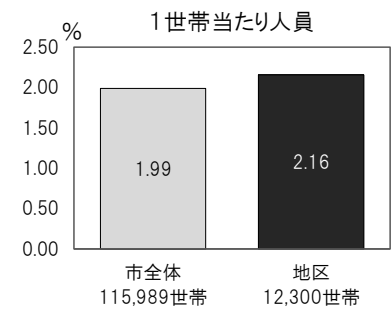
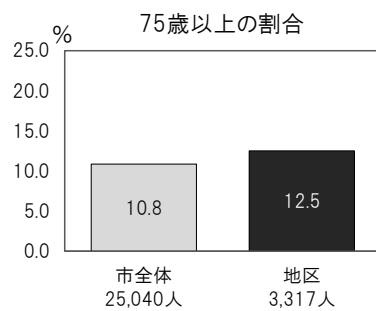
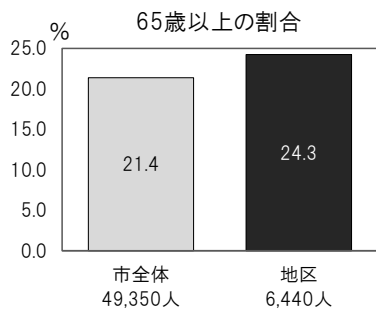
6 染地・杉森・布田小学校地域

この地域は、市の中央南部に位置し、一団地の住宅施設である多摩川住宅があり、築年数が長いことから建替え問題を抱えています。65 歳以上の割合・75 歳以上の割合が8圏域の中で最も高くなっています。また、ひだまりサロン数が最も多くなっています。地域の南には多摩川が流れ、映画の撮影所などもある地域です。こころの健康支援センターが設置されています。

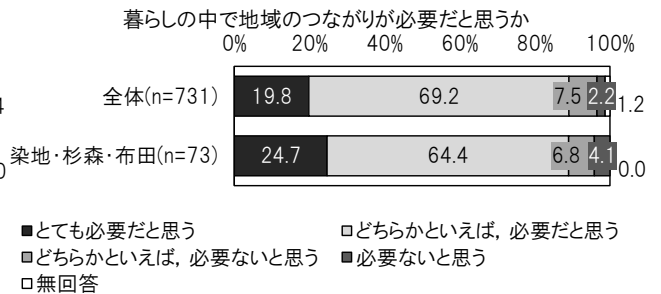
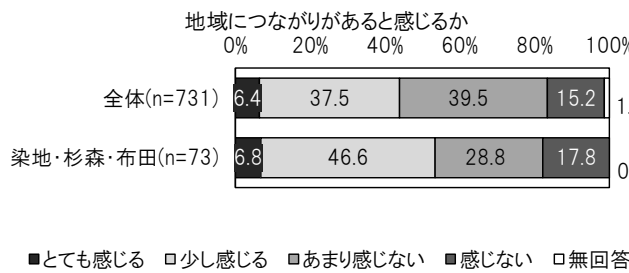
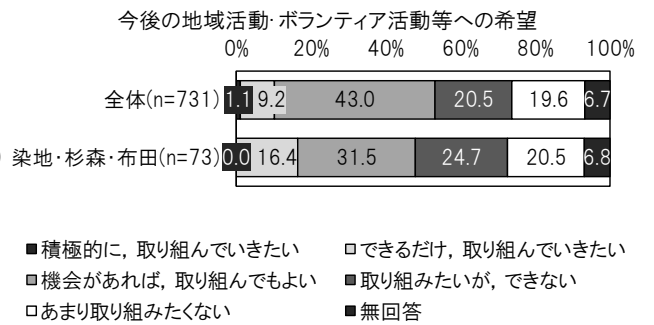
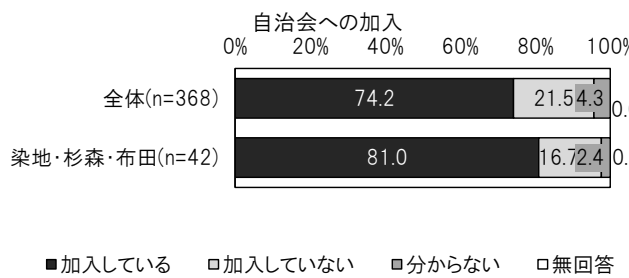
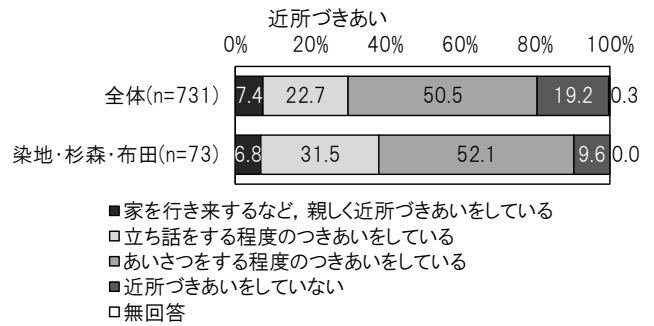
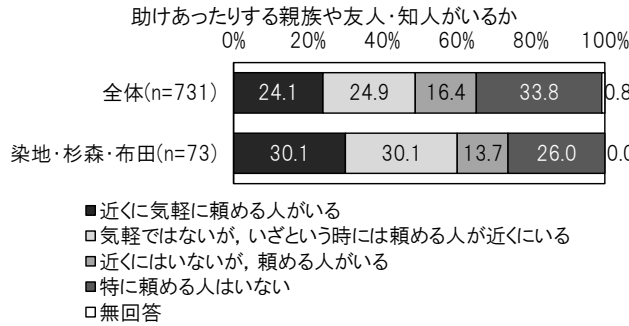




人口・世帯	人口	26,536
	世帯	12,300
組織・活動	自治会	37
	地区協議会	2
	市民活動団体	46
	ひだまりサロン	21
	老人クラブ	4
	民生委員・児童委員	14
福祉施設	児童福祉施設	15
	高齢者・介護保険施設	8
	障害者(児)福祉施設	6
医療施設	病院・診療所	8
	歯科医院	5

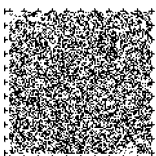


アンケート調査



地域の中で不安や課題と感じていること

	合計	子育て、子どもの教育のこと	健康のこと	介護のこと	老後の生活のこと	住まいや住宅のこと	仕事のこと	経済的なこと	近所づきあいや、友だちづきあいのこと	防犯、地域の安全のこと	災害時のこと	関心がないが相談できる人（機会）	その他	特になし	無回答
全体	731	22.4	28.6	20.0	37.2	23.0	20.7	29.5	9.7	31.2	43.0	9.7	3.4	12.9	1.5
染地・杉森・布田	73	20.5	20.5	21.9	42.5	27.4	26.0	26.0	6.8	28.8	45.2	9.6	1.4	13.7	0.0

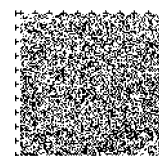


地域の強み・弱み、地域特性への取組(地域住民からのご意見)

地域の強み・個人や地域でできること	地域の弱み・個人や地域でできること
<ul style="list-style-type: none"> ○ 子ども会、自治会等自主的な住民活動が盛んで、子どもから大人まで世代間交流がある。(バーベキューやもちつきなどの行事を行う。) ○ 高齢化が進んでいるが、昔から長く住んでいる住民同士のつながりがあり、よくあいさつし合う。(大人から子どもへ、地域の方から声をかける。) ○ 学校単位の地域活動が活発で、祭りや盆踊りもとても盛んであり、そういった活動を通して世代交代も進んでいて良い。 ○ 多摩川が近いので、地域の方は散歩がしやすく健康にもよく、犬の散歩もしやすい。 ○ 地域福祉活動に理解のある方が多い。 ○ ひだまりサロンが 21 箇所と、他の地区に比べて多く、とても身近である。利用できるように働きかけたり、行けない人はともにいくなどできたらよい。 ○ 染地地域福祉センターを利用したボランティアまつりは 20 年も続いており、地域住民と包括支援センターや福祉施設などの専門機関などの協働により開催、地域の方がたくさん参加している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 近くにスーパーなどの商業施設がなく、多摩川住宅にはエレベーターもないため、生活に不便。安価な生活支援をやっているところもある。(生活支援コーディネート事業「ちょこっとさん」) ○ 新しいマンションが増えているけれども、オートロックのため誰が住んでいるのか顔が見えない。特に、子どもがいない家庭はつながりができにくい。 ○ 自治会の高齢化が進んでおり、祭りや盆踊りを通して若い世代にも参加してもらえるよう工夫する必要がある。 ○ 多摩川住宅など地域の集合住宅等では、ひとり暮らしで孤立している方が増えているため、見守り対策を進める。 ○ 自治会加入のメリットを伝え、近隣のつながりの必要性を伝える。(災害などの共通事項でつながりを検討)

今後の方向性

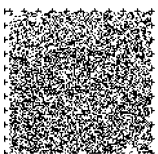
高齢化率が最も高い地域であるものの、長く住んでいる住民同士のつながりがあるという強みを生かし、多くあるひだまりサロンでの交流を今後も取り組むとともに、祭りや盆踊りなどのイベントを通して、若い世代も一層巻き込んでいく。また、特に高齢化が進む団地などでは、市民同士の生活支援等も検討していく。

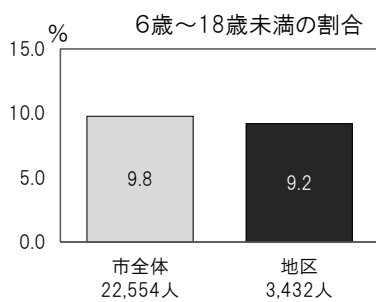
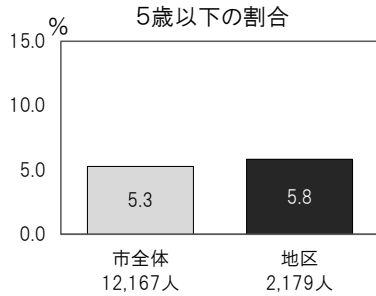


7 第一・富士見台・多摩川小学校地域

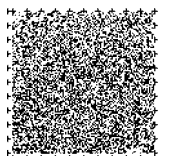
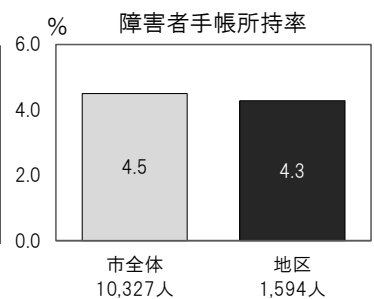
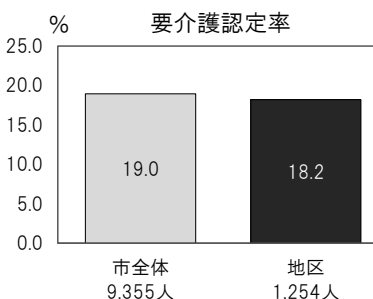
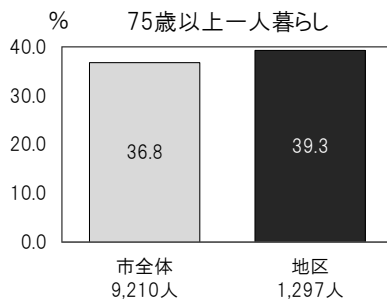
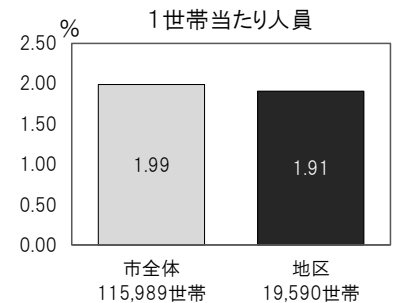
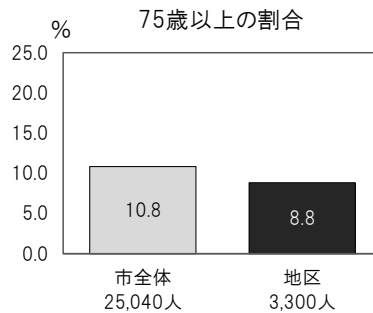
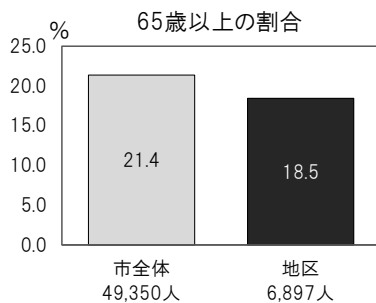
この地域は、市の西部に位置しています。人口が8圏域の中で最も多い地域で、65歳以上の割合・75歳以上の割合が最も低くなっています。

調布の中心市街地である調布駅があり、駅上に大型商業施設が新たに開設し、にぎわいが広がりました。また、多摩地域最大級のシネマコンプレックスも誕生しました。京王線の地下化により、市街地の南北一体化など、まちの景観が大きく変貌しました。

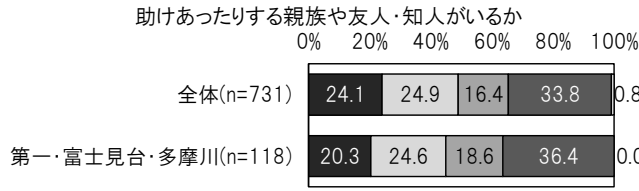




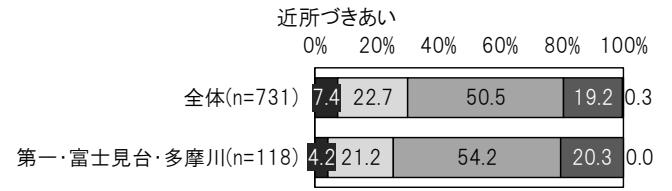
人口・世帯	人口	37,373
	世帯	19,590
組織・活動	自治会	61
	地区協議会	3
	市民活動団体	65
	ひだまりサロン	13
	老人クラブ	2
	民生委員・児童委員	26
福祉施設	児童福祉施設	25
	高齢者・介護保険施設	8
	障害者(児)福祉施設	24
医療施設	病院・診療所	41
	歯科医院	44



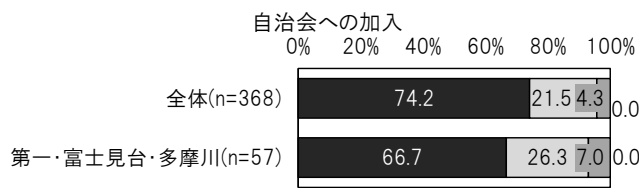
アンケート調査



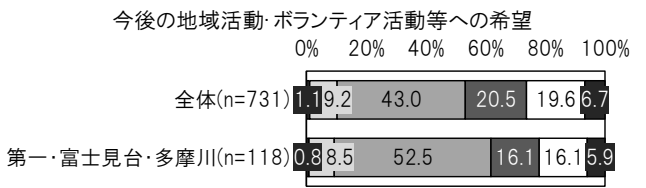
- 近くに気軽に頼める人がいる
- 気軽ではないが、いざという時には頼める人が近くにいる
- 近くにはいないが、頼める人がいる
- 特に頼める人はいない
- 無回答



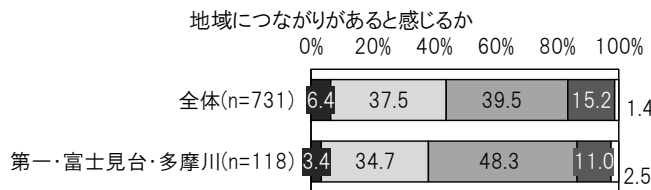
- 家を行き来するなど、親しく近所づきあいをしている
- 立ち話をする程度のつきあいをしている
- あいさつをする程度のつきあいをしている
- 近所づきあいをしていない
- 無回答



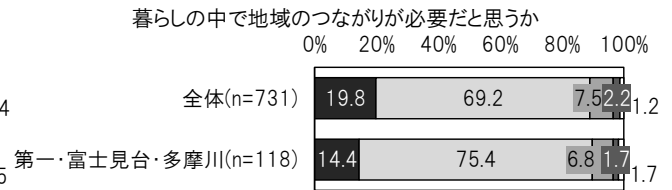
- 加入している
- 加入していない
- 分からない
- 無回答



- 積極的に、取り組んでいきたい
- できるだけ、取り組んでいきたい
- 機会があれば、取り組んでもよい
- 取り組みたいが、できない
- あまり取り組みたくない
- 無回答



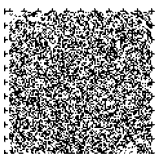
- とても感じる
- 少し感じる
- あまり感じない
- 感じない
- 無回答



- とても必要だと思う
- どちらかといえば、必要だと思う
- どちらかといえば、必要ないと思う
- 必要ないと思う
- 無回答

地域の中で不安や課題と感じていること

	合計	子育て、子どもの教育のこと	健康のこと	介護のこと	老後の生活のこと	住まいや住宅のこと	仕事のこと	経済的なこと	近所づきあいや、友だちづきあいのこと	防犯、地域の安全のこと	災害時のこと	気軽に相談できる人(機会)	その他	特になし	無回答
全体	731	22.4	28.6	20.0	37.2	23.0	20.7	29.5	9.7	31.2	43.0	9.7	3.4	12.9	1.5
第一・富士見台・多摩川	118	22.9	28.8	18.6	35.6	28.0	21.2	32.2	10.2	33.1	40.7	10.2	2.5	11.9	1.7

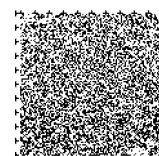


地域の強み・弱み，地域特性への取組（地域住民からのご意見）

地域の強み・自分や地域でできること	地域の弱み・自分や地域でできること
<ul style="list-style-type: none"> ○ 調布駅が近く，商業施設が多いなど日常生活の利便性がよく，自分がやりたいことが実現しやすい地域である。 ○ 社会資源や医療機関など豊富で，生活には便利である。 ○ よくあいさつを交わしている。 ○ 地区協議会活動が広がりつつあり，学校間の地域協力があるほか，若い人たちが役員となって防犯活動に取り組んでいる。 ○ 祭りや文化活動が豊かで，ポスターなどでPRし，地域を巻き込んでいる。（若い世代が多いので，参加しやすくする工夫が必要） ○ ボランティア活動の意欲に，活動意義を可視化できる工夫（地域通貨など）ができると活性化するのではないかと。また，生活スタイルが多様なので，活動日や時間が参加しやすいよう工夫し，活動内容によってターゲットを絞る。 ○ 地域の拠点として，地域福祉センターや総合福祉センターなどの地域資源を生かした活動をもっと広げる。若い世代が，気軽に参加できるよう工夫していく必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ アパートの単身者など誰が住んでいるかわからないことがあり，地域のつながりが弱い。顔の見える関係を築く工夫が必要である。 ○ 自治会加入が少ないため，若い世代が興味のあるイベントや防災活動等参加しやすい工夫をする。また，サロンを増やしていけば少しずつつながりが増えるのでは。 ○ 若い世代を巻き込むために，PRをする際SNSなどインターネットを利用することも一つの手だてである。 ○ ひとり暮らしの高齢者では電気の交換などちょっとしたことに困る人もいるので，地域で支え合う活動が必要である。 ○ 空き家が増えており，地域の中で情報共有しながら交流の場になるように整備していけるとよい。

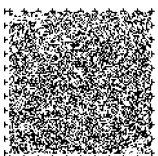
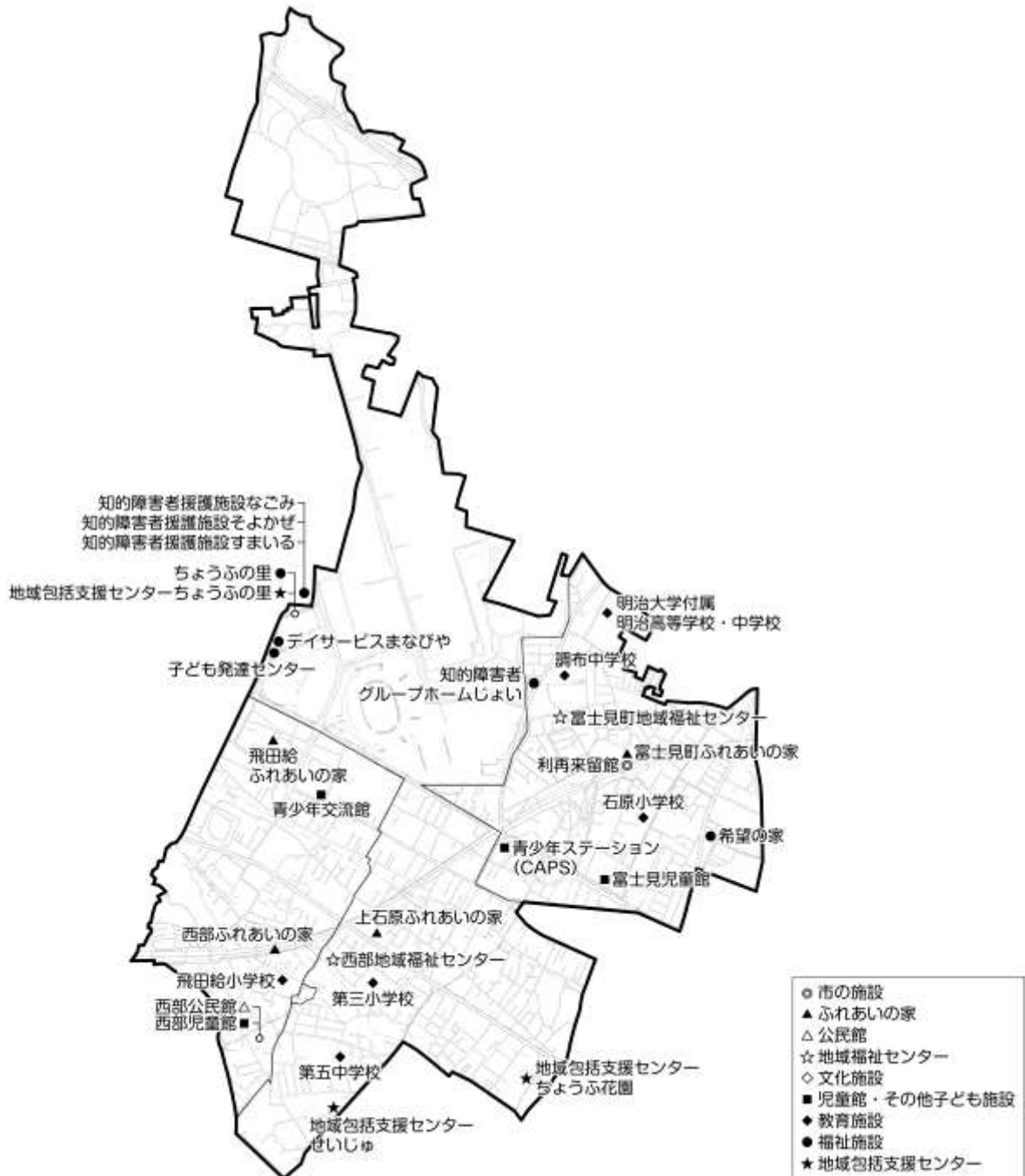
今後の方向性

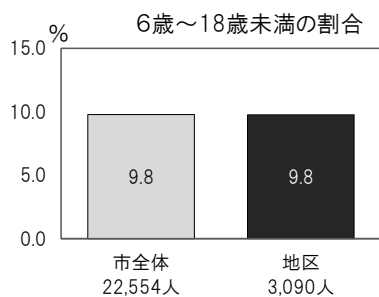
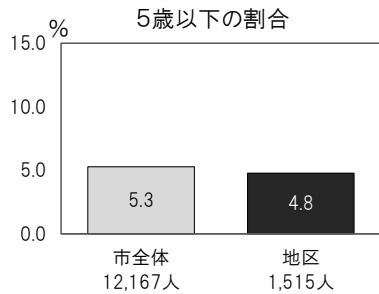
若い世代が多いという特性を生かし，若い世代が興味のあるイベントや防災活動等参加しやすい内容とするとともに，活動日時を土日にししたり，PRにインターネットを活用したりするなど，参加しやすい工夫をしていく。また，増えている空き家についても，交流の場として活用できるように検討していく。



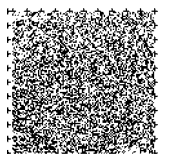
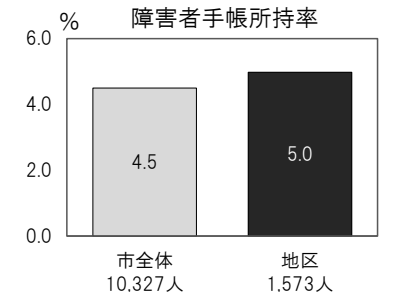
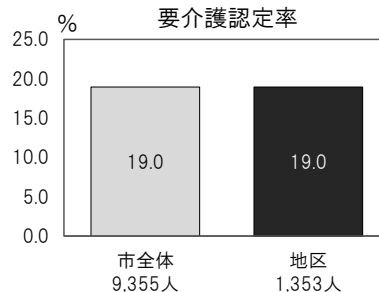
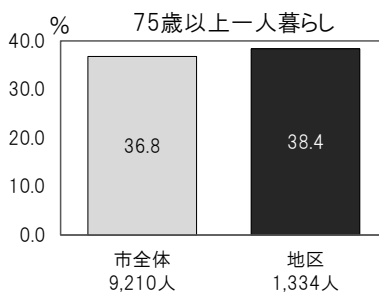
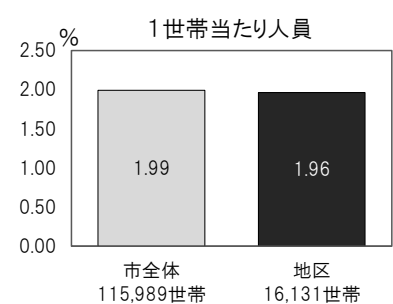
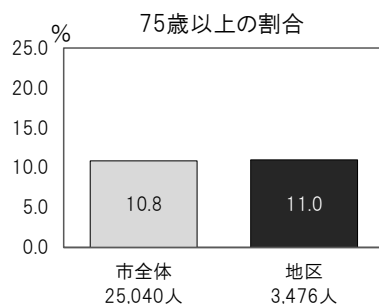
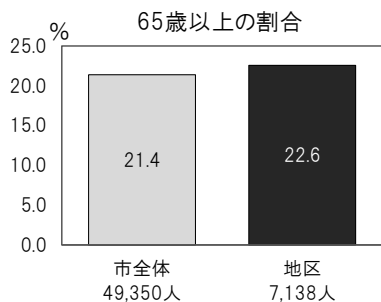
8 第三・石原・飛田給小学校地域

この地域は、市の西部に位置し、8圏域の中で65歳以上の割合は2番目に高くなっています。福祉施設が最も多い地域となっています。2020年のオリンピック・パラリンピックに向けたスタジアムや武蔵野の森スポーツプラザがあり、飛田給駅周辺は、住民や来訪者にとって魅力的で快適な市街地整備が進められています。北側地域は、調布基地跡地、調布飛行場及び都立野川公園等が広がっています。

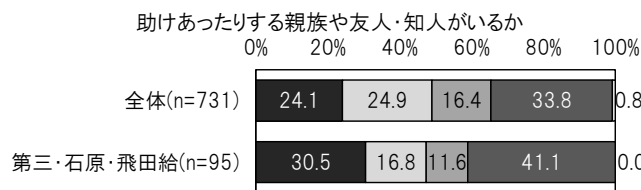




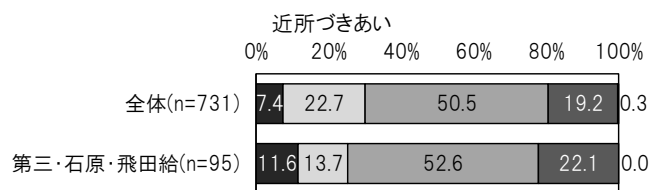
人口・世帯	人口	31,639
	世帯	16,131
組織・活動	自治会	96
	地区協議会	3
	市民活動団体	59
	ひだまりサロン	19
	老人クラブ	6
	民生委員・児童委員	23
福祉施設	児童福祉施設	27
	高齢者・介護保険施設	12
	障害者(児)福祉施設	24
医療施設	病院・診療所	18
	歯科医院	16



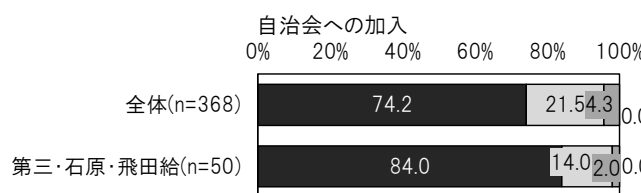
アンケート調査



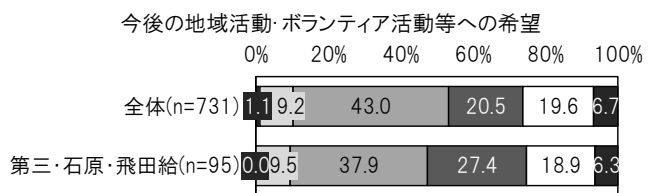
- 近くに気軽に頼める人がいる
- 気軽ではないが、いざという時には頼める人が近くにいる
- 近くにはいないが、頼める人がいる
- 特に頼める人はいない
- 無回答



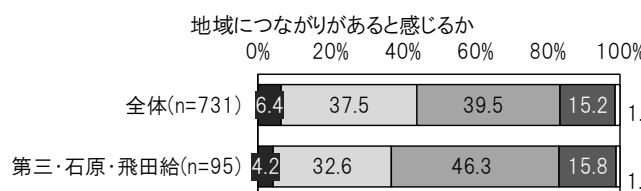
- 家を行き来するなど、親しく近所づきあいをしている
- 立ち話をする程度のつきあいをしている
- あいさつをする程度のつきあいをしている
- 近所づきあいをしていない
- 無回答



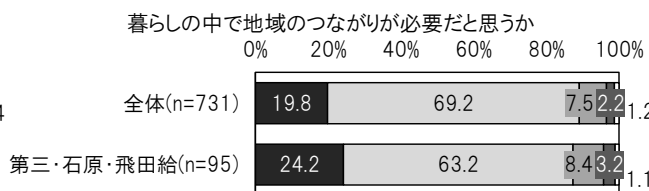
- 加入している
- 加入していない
- 分からない
- 無回答



- 積極的に、取り組んでいきたい
- できるだけ、取り組んでいきたい
- 機会があれば、取り組んでもよい
- 取り組みたいが、できない
- あまり取り組みたくない
- 無回答



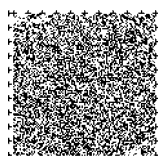
- とても感じる
- 少し感じる
- あまり感じない
- 感じない
- 無回答



- とても必要だと思う
- どちらかといえば、必要だと思う
- どちらかといえば、必要ないと思う
- 必要ないと思う
- 無回答

地域の中で不安や課題と感じていること

	合計	子育て、子どもの教育のこと	健康のこと	介護のこと	老後の生活のこと	住まいや住宅のこと	仕事のこと	経済的なこと	近所づきあいや、友だちづきあいのこと	防犯・地域の安全のこと	災害時のこと	関心が少なすぎる人（機会）	その他	特になし	無回答
全体	731	22.4	28.6	20.0	37.2	23.0	20.7	29.5	9.7	31.2	43.0	9.7	3.4	12.9	1.5
第三・石原・飛田給	95	26.3	26.3	18.9	41.1	18.9	17.9	32.6	14.7	35.8	48.4	16.8	6.3	13.7	3.2



地域の強み・弱み，地域特性への取組（地域住民からのご意見）

地域の強み・個人や地域でできること	地域の弱み・個人や地域でできること
<ul style="list-style-type: none"> ○ 中央自動車道（調布IC）が近くにあり，交通の便がよく，入院できる病院もあり便利である。 ○ スポーツができる施設等の公共施設や大学がある地域であり，イベントの開催などを一緒にできるとよい。（大学生の活用） ○ 福祉施設が多く，日頃の集まる場としてや，災害時の備蓄など，活用させてもらえるとよい。地域の福祉施設をもっと知ってもらう必要がある。 ○ 自治会が多く，地域差はあるが自治会によっては昔からのイベントを続けられていて，住民の交流があるが，若い世代へ加入を促す。 ○ 防災訓練等を，自治会やマンション管理組合で行い，地域のつながりをつくるというのではないか。 ○ 地区協議会の活動も活発に行われている地域である。若い世代や高齢者の活躍の場をみんなで考えられるとよい。 ○ 地域福祉センターでは，それぞれの小地域で，地域住民のつどいが行われ，多世代の参加があり，交流が図られている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 駅南側で一部交通の便が悪いところがあり，高齢者が増えている中，移動に不便がある。 ○ マンションが増えたことに伴い，従来からいる住民と新しく入ってきた方々との交流がなく，自治会への加入率が低い。お子さんを通して親御さんに話をさせていただくとか，子どもが参加できるイベントを計画することで，加入につなげられるのではないか。 ○ 強みである福祉施設に行く機会が無い人が多いため，一緒にイベントを行い，施設の内容を伝えられると良い。 ○ 味の素スタジアムでのイベントは多いが，その反面，地域住民主体のお祭りなどのイベントが，他の地域に比べて少ない。みんなで住民参加型の集いを行えるとよい。（大学生や地域の施設などと連携）

今後の方向性

自治会が多い特性や地区協議会活動を生かし，子どもが参加できるイベントの開催や防災訓練などを通して若い世代の加入も促し，交流を深めていく。また，福祉施設，スポーツ施設などが多いことから，イベントの開催などで地域への理解を深めるとともに，日頃の集まる場や災害時の備えなど地域の交流を通じて，協働の取り組みを行っていく。

